

発達支援センター市民講演会 「子どもの育ちと ネット・ゲーム依存の現状」

9月5日に、宗像ユリックス・ハーモニーホールで、市民講演会を開催。講師に、独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターネット依存治療部門の三原聡子さん（臨床心理士）を迎え、「子どもの育ちとネット・ゲーム依存の現状」をテーマに話を聞きました。保護者や小学校・保育所・幼稚園の先生、日頃から子どもたちに関わりのある人など、多くの参加がありました。

講演では、ネット依存の現状と課題について、事例を交えながら、オンラインゲームの仕組み、ネット依存の定義、ネット依存で発生するさまざまな問題、ネット依存を予防するために学校や家庭でどのようなことが必要かという、基礎から実践まで盛りだくさんの話でした。

参加者からは、「私自身はネットやゲームについて疎いので、現状を知って驚いた」「携帯やパソコンなどを、わが子にとても簡単に持たせていたので、気を付けたいと思った」「発達障害の視点からの内容をもっと聞いてみたいと思った」などの声がありました。

発達支援センターでの相談にも応用できるキーワードをたくさんもらいました。これからも、相談に来る保護者のみなさんに寄り添い、一緒に考えながら、よりよい支援を考えていきたいと思えます。

■問い合わせ先 発達支援センター ☎(36)9098

ホストファミリー募集 福岡日本語交流プログラム



初めて梅干しを食べた
アメリカ人大学生（昨年の様子）

海外の日本語学習者を福岡に招へいし、大学交流や企業訪問などをする「福岡日本語交流プログラム」。市では、11カ国（中国、インドネシア、韓国、オーストラリア、台湾、米国、タイ、ベトナム、マレーシア、フィリピン、インド）から来宗する学生をホストファミリーとして受け入れる家庭を募集します。

- 日程
平成28年2月26日(金)18:00
～同28日(日)17:00(予定)
- 内容
ホームステイを通しての交流
- 応募要件 次の全てに該当する人
▽市内在住の家庭
*外国語が話せなくても申込可
- 募集人数 11家庭
*応募多数の場合は、受入条件などを考慮して選考
- 申込期間 12月15日(火)～平成28年1月15日(金)17:00必着
- 申込必要事項 ①住所②氏名③年齢④生年月日(西暦)⑤性別⑥家族構成⑦電話番号⑧メールアドレスかファクス番号
*国の指定は不可
- 申込先 子ども育成課
▽Eメール k-ikusei@city.munakata.fukuoka.jp
▽FAX (37)3046
- 問い合わせ先 子ども育成課 ☎(36)1214

お知らせ

市から

●設置期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)

●契約更新あり最長3回

●決定方法 平成28年2月中旬に企画提案書を基に選考会を実施予定

●申込締切日 平成28年

●自動販売機(清涼飲料水)の市役所内設置を公募

国・県などから

●募集要領などは、市
1月28日(木)
HP <http://www.city.munakata.lg.jp/>
「観光・産業・まちづくり」↓「契約・入札情報」からダウンロード可

●提出書類 企画提案書

●提出先 財政課管財係(本館2階)

●問い合わせ先 財政課管財係
☎(36)1104

県営住宅 入居者募集

●募集住宅 県営住宅

●募集対象団地と募集戸数など、詳細は募集案内書で確認を

●募集案内書配布期間と申込受付期間 平成28年1月12日(火)～同年1月20日(水)

●募集案内書配布場所 建築課、総合案内、元気な島づくり課(大島)、県営住宅供給公社、県庁(総合案内所、県民情報センター、県営住宅課)、県内各市

没後40年 高島野十郎展

●日程 平成28年1月31日(日)まで

●時間 午前10時～午後6時

●*月曜日は休館。祝日の場合は、翌平日が休館

●*12月28日(月)～平成28年1月4日(月)は

●問い合わせ先
▽県庁県営住宅課 ☎092(643)3739

▽県住宅供給公社 県営住宅管理部 ☎092(781)8029

▽県庁県営住宅課 ☎092(643)3739

休館

●場所 県立美術館(福岡市中央区天神5・2・1)

●内容 写実的作風の野十郎の代表作と初公開作品を含む150点を、最新の研究成果と共に紹介

●観覧料
▽一般 1200円
▽高校・大学生 900円
▽小・中学生 400円

●*詳細は問い合わせ先

●問い合わせ先 同館 ☎092(715)3551

許斐山に生息する植物の名板を 南郷小学校の児童らが設置

許斐山(271m)で10月28日、授業の一環として自生植物の名板の設置が実施されました。南郷小学校の6年生38人と、許斐山を守る活動のプロジェクトのメンバー8人が参加しました。



ひもで名板を設置しました

今までは、許斐山愛好会を中心に許斐山を守る活動をしてきましたが、会員の高齢化などで活動が衰退してきたので、許斐山登山道・史跡整備ボランティア事業実行委員会(事務局は南郷コミセン内)を立ち上げました。

植物の名板は、宗像植物友の会の黒川康子さんによる指導のもと、許斐山の植物調査を30年続けている小方和美(おがた・かずみ・78歳)さん、実行委員会の八田征勝(はった・まさかつ・72歳)さん、花田光稔(あきとし・73歳)さんらを中心に、登山道沿いの植物を剪定(せんてい)し、設置しました。

この取り組みは1年半前から始まり、小方さんは樹木や草花を調べ、許斐山の歴史や植物を子どもたちにも知ってもらおうと、南郷小学校の児童と一緒に自生植物の名板を設置する企画を進めてきました。

当日、児童は学校からこのみ公園まで歩き、自分たちで書いた植物名板を持って山頂を目指しました。道中で地図に記されたナンバーと登山道脇の植物のナンバーとを照らし合わせ、名板をひもで木に結んだり、くいを打ち込んだりして楽しみながら69カ所に表示。山頂では全員で校歌を歌いました。

▽天野大樹(あまの・だいき)さん(南郷小学校6年)
山頂近くに「えのき」の名板を付けました。木の名前も覚えて、山登りもでき、許斐山の歴史も地元のお年寄りに習いました。6年生全員でやったので、素晴らしい思い出になります。

(市民記者・岩元賢一)

●問い合わせ先
▽コミュニティ協働推進課 ☎(36)5394
▽南郷コミセン ☎(36)3465